



広報

ふじみ

2007
8
AUGUST
No.449



懐かしい思いでシャッターを切った1枚です。

昔は、真夏の軒先にこんな風景がよく見られました。大きなユウガオを輪切りにして薄く剥ぎ、天日に干してでき上がったかんぴょうには、土と太陽のエネルギーが凝縮されています。
(木の間 折井ふじ子さん宅にて)

特集

一通の遺書から——
平和への
願いを込めて・・・

【関連記事】…………… 2

主な内容

- 平成18年度事務事業評価結果の公表…………… 5
- 後期高齢者医療制度の概要…………… 6
- 国民年金からのお知らせ…………… 7
- 平成18年度行政改革進捗状況
乳幼児・小中学生医療費給付のお知らせ
公共下水道事業に係る都市計画変更等説明会…………… 8
- 教育委員会だより…………… 9

平和への願いを込めて……

昭和20年8月18日、当時陸軍の兵士であった小林孝平さんは敗戦の知らせを聞き、23歳の若さで自決していききました。

この遺書は、その際で書き残されたものです。

戦後62年を経て今、若き一兵士の死は私たちに何を教え、伝えてくれているのでしょうか……。

遺書は小林亀太郎さん（孝平さんの弟）から寄せられたものです。小林さんに胸の内をお話いただきました。



「尊い命の上に今の平和がある」
そのことを忘れてはならない

小林亀太郎（82歳 南原山）

戦争の歴史をたどれば、その背景には大東亜共栄圏という大きな理想の国策があり、多くの人が満州に移民していったのも、そのためだったと思う。

当時の教育勅語から、「男子たるものは、国と家族を護るべし」との精神を教え込まれ、国の存亡がかかっていたあの時代、男と生まれ軍人に志願するのは当然のことであつた。愛国心とは軍国主義ではなく、祖国があつてこそ自分があるという考え方に基づいたものだと思う。私自身も18歳の時、一命を国に捧げるつもりで予科練に志願し、特攻隊員となるために鍛えられた。苦しい日々を過ごした青春ではあつたが、

その時代に生まれたことを誇りさえすれば、悔いはない。

日本には古来から大和魂、恥の文化が根づいていた。死ぬる時、死ぬる場所を尊び、「屈辱よりは死」を美しい生き方としていた。兄もその道を選んだのだと思う。

戦争で戦った当時の尊い憂国の気持ち、日本の誇りだということをわかってほしい。「何を願い、どう生きたか」が大切。

矛盾や大きな犠牲を通して、新しい時代は生まれてくる。霊魂を慰め、尊び、命を賭けてくださった人々の気持ちに、恥じない生き方をしていきたいと思う。

遺書

若き盡忠の血を保ちて、今にして死を選ばずば何時の日にか死ぬ時あらん。天子より戴ける兵器を身に付け、死ぬる事を本望とす。鹿兒島の地に來りて最後迄戦い得ず武装解除に成るとは、我々の働きに在り。天子、世の人、父母に対し、誠に申訳無き事なり。鹿兒島の地に霊魂を止め、最後迄戦う。米英軍の市中を行進する憎き姿を胸に浮べ、目に見ずして死すを本望とす。中隊長殿、自分をして陛下の兵器を身に付け、日本帝國軍人として死す事をお許し下さい。

若き盡忠の血を保ちて、今にして死を選ばずば何時の日にか死ぬ時あらん。天子より戴ける兵器を身に付け、死ぬる事を本望とす。鹿兒島の地に來りて最後迄戦い得ず武装解除に成るとは、我々の働きに在り。天子、世の人、父母に対し、誠に申訳無き事なり。鹿兒島の地に霊魂を止め、最後迄戦う。米英軍の市中を行進する憎き姿を胸に浮べ、目に見ずして死すを本望とす。中隊長殿、自分をして陛下の兵器を身に付け、日本帝國軍人として死す事をお許し下さい。

自決す。

中隊長殿以下の生命を不肖小林霊魂となりて守護す。何時迄も生き長らえ、忠孝の大道を完つせん事をお願いいたします。

八月十八日 午前九時三十分 小林孝平

征く人送る人：それぞれの思い

私の戦争体験

乙事 五味一徳（85歳）

大日本帝国海軍第六艦隊旗艦巡洋艦香取が横須賀軍港を後にしたのは、昭和十六年十一月二十四日だった。私は当時十九歳、海軍二等水兵巡洋艦香取乗組みの電信兵だった。

昭和十七年二月一日早朝、突然対空戦闘ラッパが鳴り、対空高角砲・対空気銃の発射がそれに続いた。米国機動部隊による初のマーシャル方面大空襲を受け、潜水艦は潜航鎮座したが、香取は抜錨する間もなく描鎖を切断して環礁外へ逃れた。しかし、煙突付近に直撃弾を受け、死傷者が多数出たようだった。初めての上空襲であり、私達電信兵は外を見ることも出来ず、電信室の中に集まっていた。

約一時間の戦闘の末、電信室の外の機銃甲板に出てみると、負傷者の呻き声と飛び散っている血痕、甲板上に散乱する機銃弾の薬莖等に驚かされた。私は初めての戦闘であり、本当に恐かったというのが実感だった。艦に直撃



予科練通信教員時代の
五味一徳さん
昭和18年（20歳）

弾を受け、死傷者を多数出した香取は船体修理のため単独帰国することになった。

出航後間もなく、初めて戦死者の海軍葬が行われた。死者は正装され軍艦旗に包まれ（重しに砲弾を一発ずつ抱いていると聞いた）、白木の箱に納棺されて後甲板に並べられた。僧侶（僧兵）の読経に続いて艦長以下戦友達の焼香の後、ラッパ隊の吹奏する葬送曲の中、静かに後甲板より南海に滑り落とされた。その周りを艦は大きく三回周り、戦友達が帽子を振って別れを惜しんだ。戦後六十年、戦死した英霊達は今も南海の海底に静かに眠っていることと思う。

その後臨時派遣されたテニアン島が、悲惨な玉砕の島になるうとは夢にも思わなかった。半世紀前のあの修羅場のごとき砲爆撃による戦死傷者、水も食糧もなく、ジャングルをさ迷う将兵、原住民、必勝を信じながら連合艦隊の救援を待つ紅顔の少年兵達。

終戦により信州の山の中へ帰ってきたが、何もしてやることのできない微力な私、線香の一本も立てるのがせめてもの務めではないかと、善光寺南太平洋慰霊団に老妻を連れて参加、これまでに十七回慰霊巡拝をしてきた。また、サイパン島への「南太平洋戦没者慰霊塔」建立にも参加させていだいた。

現地にはまだまだ遺骨や遺品がたくさん残されている。一日も早く祖国日本に帰れるよう祈るばかりである。



女子勤労報国隊で工場へ
細川さだへさんと友人
（昭和19年）

学徒動員

若宮 細川さだへ（79歳）

私は昭和三年生まれ、全くの戦中派である。女学校に進む頃から戦色が日々濃くなっていた。衣類は切符制、食料は店頭から姿を消し、学生は勤勞奉仕に明け暮れるようになった。

四年生進級と同時に「学徒動員」である。先陣約九十名は岡谷の帝国ピストンリング株式会社出勤と決まり、私

悲しみの朝鮮引き揚げ

とちの木 小林直江（89歳）

夫の仕事の関係で、戦争当時私達は南朝鮮で暮らしていました。戦局が悪くなり、夫に召集令状がきたため、私は幼い子供二人を連れ、引揚船で帰国しました。九州の小さな港から富士見まで幾日もかかりました。大阪駅では空襲に遭い、子供二人を胸の下に入れた抱きしめていました。

着る物も食べる物もなく、お金もない。引揚者のみじめな暮らしから這い上がり、やっと生きてきた私達でした。



「今日でお別れ」精一杯の正装で出征記念に・・・
小林直江さん一家（昭和20年）

もその一員となった。予定では半年で後組と交代するはずであったが、戦争熾烈となり、私達先陣は遂に最後まで学校に帰ることは出来なかった。工場では戦地に赴く飛行機のプロペラを動かすリングを作っていた。私は研磨班に回され、ひたすら黙々と働いた。工場内は空気の汚れがひどく、油の臭いで息苦しい。窓から入る光線が埃のすこさを照らし出していた。

そんな中、ツベルクリン検査の度に陽転者が増え、バタバタと友が死んでいく。私の部屋でも二人が亡くなった。私自身も陽転し、体中がだるく、めまいもするようになった。下痢も止まらず、体中吹き出物だらけ。この先どこまで生きられるだろうか。岡谷の空にもB29が飛来するようになったし、どつちみち死ぬかもしれない。家を思い、夜空を仰ぎながらそんなことを考える日々だった。

あれから六十年 今、わたしは...

もしやの帰還

立沢 有賀さわ(95歳)

戦後六十年、思えば長く遠い昔となった。けれども思いおこせば、忘れることのできないあの日の時、元気で征ったあの姿。若い人達が次から次へと戦地に向かって征った。

やがて戦死の公報がきた。まさかと思った。「来るものが遂に来たか」が、「まさか」となり、やがてその気持ち「もしや」に変わっていった。思いは乱れて、あの日から私の頭にこびりついて離れなかった。それでも一人の時には、声を出して私は泣いた。

やがて日が経ち、終戦となった。ポツリポツリと戦地に征った兵隊さんが無言のまま帰ってきた。白木の箱の兵隊さんも黙って帰ってきた。もう何も考えることは出来なかった。

終戦後、私の家族は老夫婦と私、それに夫の忘れ形見となった子供の四人だった。食糧は何も彼もが配給となり不足した。当時何を食べていたのか、今となつては思い出すこともできない。なぜか、魚のホッケ一尾が配給されてそれを食したことを覚えていた。

私は一生懸命働いた。「もしや」との思いを一心に、忍びながら...。ところがある日、とうとうその「もしや」の日がやってきた。それは、もう冬にならんとする十一月の真つ暗な寒い夜のことだった。

私はその日の仕事を終え、後片付けに取りかかっていた。電灯が一つお勝手の真ん中に寒々と点っていた。当時

の台所は土間になっていて、台所の横は厩だった。今考えても冷たい感じのする一般的な農家の光景である。私はその土間に立つて髪の毛を梳かしていた。(昔の女は、夜寝る前に髪を梳かした。)

この時、庭の方からゴツンゴツンと兵隊さんの軍靴の音が聞こえてきた。私はハッとした。「もしや」と頭に浮かんだ。そうは思ってみたが、それでも「そんなはずはない」と、一時は思い直した。ところが、その軍靴の音はがわ家に向かつてだんだん近づいてくる。そして大戸の前で止まった。半戸のくぐり戸に手を掛けたらしく、ササツと擦るような音がした。私は思わずヒヤツと頭から冷水をかぶったような感じになった。心臓も止まったかと思われた。

その時、ガラリとくぐり戸が開いて、「今、帰りました。」と軍服姿の兵隊さんが入ってきた。私はハッとして、「お帰りなさい。」と言った。

いつも心配していた隣りの兵隊さんだった。寝ていたおじいさんたちを起こした。皆、飛び起きてきた。私は内心コンニャクのようなだった。

今、私は孫夫婦と曾孫に囲まれて幸せに暮らしている。

忘れ得ぬ歌

思えばあの日は雨だった

背の棒やはすやすやと

肩を枕に眠っていたが

頬に涙が光っていた

激動の世紀を生きて

葛窪 平出ひよ里(97歳)

戦前・戦中・戦後の激動の一世紀近くを生きてきました。その道を振り返れば苦難の連続であつたような気もするし、ささやかな幸せに包まれていたようにも思えます。

百姓でありながらお米も不足し、大根や芋を入れた御飯を食べ、モロコシだけの時もありました。苦しい食生活も、親は子进行、子は親をいたわる愛情の絆で何とか乗り越えてこられたのだと思います。



当時を回想し、思いを綴る平出さん

最悪の時代に生きて

明治大正昭和と生きてまだ生きたりず平成と戦中戦後の荒れた路食糧難やら物資無く夜昼無くの努力してボ口をまといいて働いて多くの子等を育て上げ苦勞の階段次々と上り下りの運命綱切れもしないで今日の日を向かえた事の感激は何かの花にたとえべく尊い花で有るなれば子等の恵みと幸に路を正しく悔の無き生きる喜びがみしめて変わる世代に輝きを残して散りたい手ぎわ良く

今年も間もなく62回目の終戦記念日を迎えます。

私たちはこの時代に生きた人々の思いを深く胸に刻み、世界の恒久平和に向け努力していかねければなりません。

8月11日(土)・12日(日)の両日、「第19回 平和のための信州戦争展」が、町民センターを会場に開催されます。本誌掲載の遺書のほか、戦争当時の遺品の展示、写真展、絵画展、戦争時の証言、うたとコカリナのつどい等が行われます。ぜひ、ご来場ください。(詳しくは、先にお配りしたチラシをご覧ください) 642455へお問い合わせください。

本誌には、高原の女を語る会編「世界平和への祈り」より原文または一部を抜粋して掲載させていただきました。

平成18年度「事務事業評価」の結果を公表します

町では、事務事業の効率化を推進するため、「事務事業評価」を実施しています。平成18年度は223件の事務事業について評価を行いました。

事務事業評価の導入目的

- ・町民への説明責任（アカウンタビリティ）
- ・職員の意識改革・改善意欲の向上
- ・事務事業の効率性の向上
- ・事務事業の見直し

評価結果

A評価（拡大）…19件

- *職員定数 *総合計画 *行政改革
- *防災（自主防災・防災備品・備蓄庫）
- *あつもり草の里山プロジェクト
- *窓口延長サービス

- *国保人間ドック補助 *福祉移送サービス運営
- *乳幼児福祉医療給付 *農業基盤強化促進（認定農家）
- *町単独補助土地改良（協働）
- *リサイクル推進等

B評価（継続推進）…186件

C評価（縮小・統廃合）…8件

- *友好事業リッチモンド
- *町単年金等

D評価（休止・廃止）…3件

- *職員被服貸与
- *花かおる町事業等

E評価（事業完了）…7件

- *防災アンテナ設置 *清泉荘公園整備
- *障害者デイサービス・支援費・身体障害者更正医療費給付制度改正（自立支援給付事業へ移行）

- *団体営ため池整備（西村汐）
- *南中学校耐震工事

今回の評価結果より、平成19年度以降、町が取り組みに力を入れていくものは次のとおりです。（A評価より抜粋）

【安心・安全】

防災（自主防災活動・防災資機材整備・備蓄庫設置）…町内全集落の早期自主防災組織の設立。備蓄庫・防災資機材等については、未整備の広域避難所へ計画的に整備を行うとともに、自主防災組織の整備に補助を行う。

【少子化】

乳幼児福祉医療費給付…平成19年度より、乳幼児以外に町単独で小学校1年生から中学校3年生（満15歳以後最初の3月31日まで）まで拡大し、入院、通院ともに支給対象とする。

【協働】

*リサイクル推進…容器包装リサイクル法による資源分別収集により、町民の理解と協力を得ながら、廃棄物の減量化と再資源化に向けた循環型社会の構築をめざす。

*町単独補助土地改良（協働）…土地改良事業に要する経費（10万円以上130万円以下）として、10分の8以内で補助し、地域要望に応える。

事後評価から担当者や評価者により見出された「課題や問題点」について、「改革・改善」を図っていくことにより、効率的で質の高い行政サービスの実現を目指します。

また、この評価結果は、町行政改革推進委員会でも資料として活用しました。

平成19年度より、富士見町第4次総合計画がスタートしました。今後は町の上位施策・政策に連動した事務事業評価を実施していきます。

評価結果の公表

評価結果は、ホームページで公表するほか、役場1階総合窓口や図書館に結果報告書を配置していますのでご覧ください。また、皆さんのご意見をお聞かせください。

問 総務課企画統計係

629332 9332



充実が図られている各地区の防災資機材

新たな高齢者の独立した医療制度が創設されます

- 後期高齢者医療制度 -

老人の医療費を中心に、国民全体の医療費が増え続けているなか、世代間の負担が問題になっていると言われています。このため、世代間の負担を明確にし、公平で分かりやすくしていくために、75歳以上の高齢者を対象にその心身の特性や生活実態等を踏まえ、高齢社会に対応するしくみとして、新たな高齢者の独立した医療制度が創設されます。

運営の主体は広域連合が担当！

長野県内 81 のすべての市町村が加入する「長野県後期高齢者医療広域連合」が平成 19 年 3 月 23 日に設立され、「後期高齢者医療制度」を運営する「保険者」となり、保険料の決定や、医療を受けたときの給付など、運営の主体を担当します。

市町村の役割は、保険料の徴収、申請や届け出の受付や、保険証の引渡しなど、「窓口業務」を担当します。

対象となる方・対象となるとき！

○対象となる方

広域連合の区域内である市町村にお住まいの 75 歳以上の方、65 歳以上で寝たきり等の一定以上の障害がある方が被保険者となります。

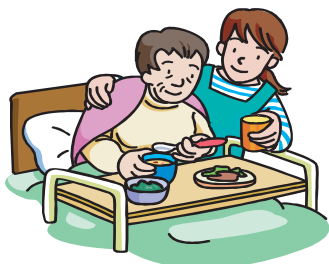
○対象となるとき

75 歳になったとき（誕生日の当日から）、75 歳以上の方が区域内の市町村に転入してきたときに資格を得ることになります。

給付は老人保健と変わりません！

お医者さんにかかるときの窓口負担は、老人保健と変わらず、原則、一般の方は 1 割負担が継続されます。現役並みの所得がある方は 3 割負担です。

入院時食事療養費の支給、高額療養費の支給、訪問看護療養費の支給、移送費の支給など、申請をして認められると、いろいろな給付を同様に受けることができます。



75歳以上の方が後期高齢者！

65 歳以上の方を「高齢者」と呼んでいますが、75 歳を境として、65 歳から 74 歳までの方は「まえのきかん」ということから「前期“ぜんき”高齢者」と呼ばれています。

これに対して、75 歳以上の方は「うしろのきかん」ということから「後期“こうき”高齢者」と呼ばれています。

保険料 1 割、支援金約 4 割、公費約 5 割で運営！

所得などに応じて決められた「保険料」を、被保険者全員が負担することになります。原則として、支給される年金から天引き（特別徴収）します。社会保険などの被扶養者の方も保険料を納めます。

公費（国、県、市町村）が約 5 割を負担、現役世代からの支援（若年者の保険料）が約 4 割を負担し、残りの 1 割を高齢者の皆さんから保険料として納めていただきます。

独自の保険証を 1 人に 1 枚交付！

被保険者全員に後期高齢者医療制度「独自の保険証」が、1 人に 1 枚交付されます。また、保険証はカード型で小さくなりますので、大切に取り扱いましょう。

新たに設立された
広域連合と県内すべての
市町村が協力して事務を
行っています。
よろしくお願
いします！



もうちょっと教えて・・・『後期高齢者医療制度』

問1 この新しい医療制度は、どのようなものですか？

答 国のすすめる『医療制度改革』のひとつで、世代間の負担を明確にし、公平で分かりやすくしていくための新たな高齢者の医療制度です。
平成20年4月から、75歳以上の方については、現在の「老人保健制度」の対象から「後期高齢者医療制度」という新しい医療制度に変更になります。

問4 何か手続きは必要ですか？

答 制度の変更に伴っては、特に手続きの必要はありません。
ただし、転入、転出や転居といった住民票などに異動があるとき、或いは、保険証を無くしてしまったときなどは、今までどおり、お住まいの市町村役場で手続きをしていただきます。

問2 新しい制度になると、具体的に何が変わるのですか？

答 この制度では、お医者さんにかかった費用の一部にあてるため、所得などに応じて決められる「保険料」を納めていただくことになります。
この保険料は、県ごとに一律の保険料率が設定され、所得に応じて一人ひとりの金額は異なりますが、原則として年金から「天引き」されることとなります。所得の状況などに応じて「軽減措置」も考慮されています。

問5 お医者さんにかかるときに自分で支払う費用や、保険証などは？

答 お医者さんの窓口では、今までどおりの負担で変わりはありません。
老人保健制度では「保険証と老人保健受給者証」の両方を見せていましたが、この制度では「保険証」だけを見せれば、受診できるようになります。
この保険証は、一人一枚ずつ交付されるようになります。

問3 対象となる方は、75歳以上のすべての方ですか？

答 はい、現在の老人医療制度の対象者と同じで、75歳以上の方と、65歳以上で一定以上の障害認定を受けた方が対象になります。
健康保険組合や共済組合などに加入している方や、その被扶養者となっている方も移行（加入）していただきます。

最後に・・・

健康で自立した生活を過ごすことは、医療費の節約にもつながります。

これには、若いうちから定期的に健康診断を受けることが大切です。

また、高齢者の方は、日ごろから、簡単にできる運動の習慣や、バランスのとれた食生活の定着などで、「健康寿命」を延ばして、いつまでも元気な生活が送れるようにしましょう。

あなたの一生をサポートします 国民年金

老後を支える「老齢年金」、一家の働き手が亡くなったときには「遺族年金」、思わぬ事故や病気で障害が残ったときには「障害年金」があります。

「年金あんしんダイヤル」
ロウゴナヤミゼロ
0120-657830

老齢基礎年金

保険料納付期間や免除期間、厚生年金などの加入期間を合計して、原則25年以上の期間がある場合、65歳から生涯受け取ることができます。

平成19年度年金額
792,100円（満額）

障害基礎年金

国民年金加入中の病気やケガで障害等級表の1級または2級の障害状態にある間受け取ることができます。

平成19年度年金額
990,100円（1級）
792,100円（2級）

遺族基礎年金

国民年金の加入者が亡くなったときにその人によって生計を維持されていた、「子」または「子のある妻」が受け取ることができます。

平成19年度年金額
1,020,000円（妻）

平成18年度の「行政改革進捗状況」をお知らせします

昨年度の行政改革では、子ども課の設置、自主防災組織の設立推進、また、職員数の削減等を行いました。

項目別の主な取り組み内容は、次のとおりです。

- 民間委託等の推進
 - *道路や公園などシルバー人材や地域に草刈業務を委託
 - *町営住宅の軽微な修繕もシルバー人材に委託
- 公共施設の管理運営と有効利用
 - *おつこと亭・道の駅などの施設が指定管理者制度へ移行
 - *高原のミュージアムは夢二展の開催などで来館者が増加
- 地域協働の推進
 - *地域担当職員を各地区(集落)へ配置
- 組織・機構の見直し
 - *子どもの教育の一元化を図るため、保育園・児童福祉行政を教育委員会に含めた「子ども課」を設置
 - *自主防災組織は18年度末で30組織が設立
 - *応急手当実施可能者760名を養成
- 行政評価による組織再編
 - *試行段階の平成17年度事業の事後評価及び19年度事業の指標値を設定

評価	事業数
A(目標をほぼ達成)	35
B(目標をやや下回る)	18
C(目標を下回る)	7
D(目標を大幅に下回る)	4
合計	64

町では、実施計画がどのくらい達成できたかを4段階で評価しています。平成18年度では一定の前進があるものの、A評価が35項目と半分程度となっており、更に積極的な取り組みをしない状況です。

- 定員管理の適正化
 - *職員を前年度より5名削減
- 職員の能力開発と人材育成の推進
 - *人事考課を実施し勤勉手当に反映
- 電子自治体の推進等による住民サービス向上
 - *有線放送電話の今後について、地域情報化推進委員会検討
- 経費の節減合理化等財政の健全化
 - *税金の徴収率は微増ながら向上(+0.1% 徴収率97.4%)
 - *下水道事業の費用削減と接続率を向上(+2.87%)
- 議会・農業委員会関係
 - *議会常任委員会を3から2に削減決定
 - *農業委員を2名削減

富士見町公共下水道事業に係る都市計画変更等についての説明会

町の公共下水道事業は、法令に基づく県の認可を受け整備を行なっています。

日々変化している町の状況と現行の整備計画を照らし合わせ、実態に合った計画に変更していく必要があることから、都市計画法における認可変更ならびに下水道法における認可変更を行ないます。

この変更計画案策定前に変更内容についての説明を行いますので、ご利用ください。

〔場所〕役場3階 上下水道課
 〔期間〕8月20日(月)～8月22日(水)
 〔時間〕午前9時～午後5時
 期間内は事前にご連絡いただければ上記時間外でも対応いたします。

問 上下水道課施設整備係
 62-9341 有 9341

乳幼児・小中学生の保護者の皆様へ医療費給付のお知らせ

富士見町では、乳幼児・小中学生に対して医療費の補助を実施していますが、保育園や学校管理下における怪我等は日本スポーツ振興センターの災害共済給付金の対象となるため、町からの補助対象とはなりません。() 保育園や学校での怪我等で受診した際は、お早めに各保育園・小中学校の担任または保健室までご連絡ください。

日本スポーツ振興センターの医療費給付は、傷病に係る初診から治療までの保険診療分が500点(自己負担約1,500円)以上のものが対象となります。500点に満たない場合は、町からの補助対象となります。また、町・日本スポーツ振興センター共に保険診療分のみが対象となります。

日本スポーツ振興センターの医療費給付は、医療費総額の4割になります

例えば、医療費総額が1,000点(10,000円)の場合
 A窓口での支払額、自己負担分
 $1,000点(10,000円) \times (3/10) = 3,000円$
 Bセンター付加給付分、1割相当額
 $1,000点(10,000円) \times (1/10) = 1,000円$
 センターからの給付額 = A + B = 4,000円

問 住民福祉課社会福祉係 62-9144 有 9144

富士見町 第20号 教育委員会だより

平成19年8月1日発行
富士見町教育委員会編集
62-9235
kodomo@town.fujinagano.jp



定例教育委員会
8月22日(水)
9月19日(水)
午前9時30分より
役場3階会議室

地域乳幼児相談
8月23日(木)
9月27日(木)
午前10時15分より
子育てひろばA・A・i

電話による教育相談
月・火・木曜日
午前9時～午後3時
62-3118

子どもの幸せを願って——教育懇談会で話し合われたこと——

初の試みとして教育委員会は、特にテーマを設けずに、教育全般について地域住民の皆さんのご意見を直接お聞きするために、町内4地区で教育懇談会を開催しました。以下、発言の概要です。

第1回(6・22本郷小)は、参加者1人(次回に参加いただく)のため中止。
第2回(6・27町民センター)の参加者は8名、他に教育委員ら計14名でした。

子どもの遊びと居場所

- 放課後・休日の居場所がない。
- 信濃境駅前の日通跡地に子どもの遊び場をつくつたらよい。遊び場では上級生が下級生を育てる。
- コミプラのロビーで休日に子どもがゲームをしているのはどうか。
- 学校が終わると習い事に時間をとられる。
- 富士見町には遊び場がない。親の送迎がないと遊べない。
- 遊べる子と遊べない子が両極端。遊べる子はどこでも遊べる。
- 「AiAi」では町民広場キャンプ場で外遊びをしている。将来的には

子どもの送迎ができれば、誰でも参加できる。

○近所の庭で遊んだもんだ。そんな場所には開放し、責任については本人に自覚を持たせることを教える。

ゆとり

○先生、子どもにゆとりがない。親は共働きで、子どもは時間を持て余している。

○学校に行くだけで、子どもは遊ぶ時間もない様子。時間割表を見てそう思う。



未満児の保育について

○昔は年寄りが家に居てみてくれた。未満児を預かってくれるところがあれば良い。

○一時間くらい隣近所に預けられる地域づくりも必要。

子どもに伝えるべきこと

○自分自身親から何も受け継いでいないので、子どもに何をどう伝えたらよいかわからない。

○子どもが小さいときに親が教えるべき事は、きちんと教えておくべきだ。

高校改革プラン

○地域住民の理解を最優先し、地域の実情を考慮して考えてもらいたい。

第3回(6・29落合小)の参加者は24名、他に教育委員ら計36名でした。

落合小の児童数減少

○児童数本年64名、来々48名。今後どうなっていくのか。小学校の統合か、通学区の見直しか。4小学校の人数

のバランスを考えて通学区の見直しなど考えてほしい。

○落合小を存続していくつもりが町にあるか。

○昨日、落合地区少子化問題等研究会を立ち上げた。町も積極的に関わり、支援してほしい。

○少人数になっても学校存続という考え方もわかるが、現に通う子どもたちにとってはデメリットも大きい。

○心配なのは登下校の問題。一人で歩くことが心配。子どもたちの安全を最優先で考えてほしい。



中学校間の格差解消について

○昨年度有志で落合小保護者にアンケートをとった結果、スクールバスなど通学手段が整えば子どもを高原中に通わせたいという意見が75%あった。南中学校と高原中学校を比較すると設備面や人数、部活動などで両校の格差はとても大きい。精神面などでも大事な時期なので同じ環境・条件で中学校生活を送らせたい等々の意見が出た。中学校の統合も検討してほしい。

○部活の制限もあるため統合して欲しいと子どもも言っていた。

○町に中学校が1つしかないのも良くないと思う。高原中の他に本郷・落合・境小学校通学区の中間の地点、海洋センターあたりに新しい中学校を建設するという意見もある。

○南中は今年50周年を迎えるがその後どうなるのか。

もし統合ということになってても何年後の話。今通っている子どもたちのことを考えて、部活動の見直し、小規模校の良さを生かしたきめ細かな指導などをお願いしたい。

落合地域の活性化について

落合地区活性化の一つに工場誘致があると思うが、町の考えは。地域問題が学校問題に象徴的に現れている。地域の発展が学校の存続につながる。各地域が特性を生かし、バランスよく発展していくことが将来の町の発展につながる。

第4回(7・9境小)の参加者は7名、他に教育委員ら計16名でした。

南中の部活動について

子どもが南中に通っているが、部活動について、どうしても高原中と比べてしまう。好きな部活動ができていくか心配。

落合地区の母親が集まれば、中学校はいくつ統合するのかわからない話になる。



子どもたちが本当にやりたい部活動をやってもらいたい。部数は南中は5、高原中は15で、南中の子どもは選択肢が少ない。

少人数であることのよさ

落合小や境小は少人数だが、いろいろな活動で頑張っている。少人数を生かす方法を探すことも必要。

小学校については通学が遠距離になるなどの問題があるので、少人数でも良いと思う。

中学校の人数が少ないということは、いろいろな活動に支障が出るので検討をする段階ではないか。

少人数だと子どもたちは小学校時代から成績の順番が決まっています、やる気が出ない気がする。

昔も保育園、小学校、中学校と優秀はついてきたが逆転現象もあつたし、人数の多少の問題はないように感じる。

境小について

多いか少ないかの目で見ると、多いほうが良いという話になるのか？小さい学校なりの教育を考えればよいのではないか。少人数を最大の武器として教育ができるかどうかが課題。もしできないなら統合を考える必要がある。

家庭教育について

今後10年、20年先には境小の児童数は2桁に減少するのか。少人数教育のメリットを生かす方策に町も教育委員会も支援をしてほしい。

どのくらい家庭が子どもと一緒に食事をとっているか。「早寝・早起き・朝ごはん」運動も継続してもらいたい。

子どもの権利条約などについて

子どもの権利条約や児童憲章について、大人、先生がどの程度理解しているか。啓蒙普及が必要。

少子化について

団地の造成が富士見地区に集中している。住宅政策の進め方に問題があったのではないか。

教育懇談会を終えて

多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いずれの問題も、その選択が、子どもの現在と未来の最善の利益につながるかどうかという視点を見失わないことが肝心だと私たちは考えています。

子どもの幸せのために、これからも、町民・地域住民の皆さんと一緒に膝を交えて話し合う機会を何度でも設けたいと思っています。教育懇談会は、そのためのはじめの一步。

住民自治、主人公はあなたです。積極的な参加を心から希望します。

教育長 小林 洋文

よろしくお願いします



生涯学習課
社会教育指導員
有賀 孝蔵

4月より社会教育指導員として主に子ども会、青少年健全育成、人権教育の推進を担当しております。社会教育は、学校教育以外の主として青少年及び成人教育を掌ります。生涯学習を問わず、生涯の学びを通じて自己を研鑽することは大切なことと思われまふ。地域の実情に即した各種事業を推進し、家庭・地域・教育・行政など、関係機関が一体となった明るく住み良い郷土づくりに向け、微力ではありますがその一助をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

八ヶ岳の風

町内4ヶ所で教育懇談会が開催されました。延べ約70人の方々が出席されました。

「え、そんなに？」「の、」には、「多」と「少」がありますが、それはともかく、ひと続きの八ヶ岳の裾野に生活しているも、地区により関心や意見はそれぞれだという事を実感しました。

小学校や中学校の今後のあり方なども含めて、とても大切な意見がいろいろお聞きできました。地域の教育力を感しました。さらにこの会の充実を願っております。

教育委員 名取 陽

くらしの情報

お知らせ

安全に楽しく遊ぼう
— 花 火 —

夏の風物詩として楽しい花火。しかし、取扱い方法を誤ると火災になったり、やけどをするなどの事故につながります。安全に楽しく花火で遊ぶためのことに注意しましょう。

- 花火に書いてある注意事項を必ずまもりましょう。
- 燃えやすい物がある場所では、遊ばないようにしましょう。
- 風の強い日や乾燥している日は、やめましょう。
- 花火は人や家に向けないようにしましょう。また、火を点けた後に点火口をのぞき込むような行為はやめましょう。
- 衣服に火が燃え移らないように注意しましょう。
- 水バケツ等を用意し残り火を確実に消火しましょう。

以上の点に注意するとともに、この機会に子供たちと火の取り扱いや火災の恐ろしさについて話し合い、安全に花火を楽しみましょう。



終戦当時、引揚者の方々からお預りした通貨・証券等を返還しています

名古屋税関では、終戦後に外地より引き揚げてこられた方々が、税関などに預けた通貨や証券等をお返ししていますが、今なお引き取り手がなく、保管されたままになっているものが多数あります。

返還請求・お問い合わせは、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、お気軽にお問い合わせください。

〔返還している通貨・証券等〕

○上陸地の税関又は海運局に預けた通貨・証券等

○帰国前に在外公館や日本人自治会等に預けた通貨・証券等のうち、その後日本に返還されたもの

* 通貨：旧日本銀行券、旧日本軍票 等

* 証券等：支那事变割引国庫債券、大東亜戦争割引国庫債券 等

問 財務省名古屋税関

監視部監視許可通関部門

0526544060

電気使用安全月間

電気は正しく
安全に使いましょう

8月は電気使用安全月間です。感電災害は夏場に集中して発生します。夏は汗をかきやすく、皮

膚の露出部分が多くなり、また疲労から注意力が散漫になりがちです。この点から毎年8月を「電気使用安全月間」とし、経済産業省の主唱のもとに全国一斉に行われています。

感電災害を防止するため、電気は正しく安全に使いましょう。

電気のご相談は（財）中部電気保安協会 諏訪事業所（27, 3822）へお願いします。

福祉の職場説明会

長野県社会福祉協議会福祉人材研修センターでは、福祉の職場に就職を希望する方、福祉の職場や資格等について知りたい方を対象に、説明会を開催します。

■日 時

8月20日（月）

午後1時～4時

（受付 正午～午後3時30分）

■開 場

ホテルブエナビスタ（松本市）

* 入場無料

* 事前申し込み不要、当日受付までおいでください。

* 駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

問 長野県社会福祉協議会福祉人材研修センター

0262267330

お盆中のごみ・し尿の収集

お盆期間中、粗大ごみ処理施設は15日（水）、し尿の汲みとりは14日（火）、16日（木）が休業となります。

なお、可燃ごみは通常どおり収集します。

問 建設課生活環境係

629114 有 9114

相談

労災医療・労災補償

（財）労災保険情報センターでは、厚生労働省の委託を受けて、労災医療、労災補償などの労災保険制度全般の相談をお受けしています。

相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご利用ください。

* フリーダイヤル

0120039631

募集

ピアカウンセリング

座談会 参加者

「ピアカウンセラー・ピアカウンセリングって何？」

■対 象

諏訪地域及び、長野県内に住まいの障害のある方

■開催日時

9月1日（土）

午後1時30分～3時30分

9月15日（土）

午後1時30分～3時30分

■会 場

諏訪市総合福祉センター

3階 第2会議室

■講 師

上伊那圏域障害者総合支援センター「きらりあ」

ピアカウンセラー

■募集人数 堀川さゆみ氏

10名（基本的に2回通して参加できる方を優先）

■参加費 無料

■申し込み

8月29日（水）までに、諏訪地域障害者自立支援センター

オアシスへ 547713

（※547723）までお申し込みください。

信州風樹文庫創立60周年

記念事業 投句

信州風樹文庫が今年創立60周年を迎えるのを記念して、10月7日（日）に伊藤伊那男先生による俳句作法講演会を開催します。事前に投句を募集し、応募いただいた作品を題材として講演をいただきますので、ぜひご応募ください。

■募集句

秋季の季語を読み込んだ自作俳句 1人1句

住民だより

7月

■ 6月15日～7月14日の届出 ■ 敬称略
● 転入・転居・出生は14日以内に 死亡は7日以内に届出を

結婚おめでとう

氏名	出身地
鮎澤 聡美	富原
照内 雅弥	富原
小池 和実	立沢
柳澤 生子	諏訪市
原 晃一	富士見
三井 麻衣子	富士見
武藤 雅俊	烏帽子
矢島 福美	茅野市

出生おめでとう

氏名	父の名	母の名	区名
小林 匠	淳	賀子	立沢
平出 晃	有希	響子	池袋
名取 立	弘晃	真弓	瀬沢新田
加藤 結	洋平	奈緒	立沢
平岩 潤	卓	由子	富里
窪田 椰	将也	真弓	富士見
小田 空	太一	理恵	富里
大泉 優	互	幸子	富士見
土屋 晴	武史	多恵子	富士見

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	世帯主	区名
小森 正	84歳	正規	木の間
五味 幸	63歳	あや子	立沢
藤森 華	70歳	定子	瀬沢
平出 千	80歳	今朝美	池袋
小林 千代	95歳	千代乃	田端
小森 泰	77歳	仁司	山原
牛山 二	96歳	平吉	富里
芳賀 龍	87歳	みや子	高森
五味 志	100歳	勝徳	乙事
樋口 喜	93歳	よ志	若宮
五味 浦	61歳	恵美子	栗生



■ 対象
ペテランから初心者まで
■ 投句締切
8月31日(金)必着
■ 投句料 無料
■ 応募方法
はがきに作品1句、作者氏名、住所をご記入の上、左記までお送りください。
投句先 問
信州風樹文庫
〒3920015
諏訪市中洲3289番地1
581814

暴力団 追放ポスター・標語

■ テーマ
暴力団を許さない、暴力団を排除する意識への高揚を訴えるもの
■ 要領
* ポスター…B3版画用紙
(裏に氏名明記)
* 標語…メールはがき・ファックスなどで何点でも
■ 応募締切
9月7日(金)当日消印有効
■ その他
作品には必ず住所氏名ふりがな・電話番号・年齢を明記してください。

受信環境クリーン図案 コンクール 作品

■ テーマ
テレビ・ラジオの良好な受信環境を表現した図案、または受信障害の防止をねらった図案(未発表のもの)

■ 送付先
〒3808510
長野市南長野幅下6922
(財)長野県暴力追放県民センター
0262352140
0262333741
Eメール
boutsu@mx2.avs.ne.jp

■ 作品要領
縦38cm×横54cmの四つ切画用紙、または縦27cm×横38cmの八つ切り画用紙を横長に使用してください。(詳細要問合せ)
■ 応募方法
作品の裏面に、都道府県名・学校名・学年・男女別・氏名(ふりがな)を明記の上、学校ごとにまとめて送付してください。
■ 応募締切 9月6日(木)

■ 応募先 問
〒3808502
長野市稲葉2102
NHK長野放送局内
信越受信環境クリーン協議会
長野県連絡会事務局
0262915204

岡谷技術専門校 平成19年度訓練生

■ 募集科目
電子制御コース 10月～3月
電子機器組み立て、3次元CADによるモデリング技術等の短期習得
■ 応募資格
高等学校を卒業した方、もしくは高等学校卒業と同等以上の学力を有する方
■ 選考日・選考方法
8月31日(金)
学科試験(国語・数学)、職業適性検査(記述、器具)面接
■ 応募締切 8月21日(火)
問 岡谷技術専門校
222165

第31回 富士見町民硬式 テニス大会 参加者

■ 日 時
9月2日(日)
午前8時30分～
■ 会場
町民広場 テニスコート
■ 参加資格
町内に在住・通勤・通学する高校生以上の方
■ 申し込み
8月23日(木)午後5時までに町民センター内社会体育係へお申し込みください。
問 生涯学習課社会体育係
622400 有 2750

くらしのガイド 8月(8月11日~9月10日)

相談・説明会

相談・説明会名	日 時	会 場
出張国民年金 納付・納付記録相談	8月21日(火) 午後2時~午後6時	役場1階 町民相談室
心配ごと相談	8月17日(金) 午前10時~午後3時	町民センター
結婚相談	8月14・21・28日(火) 9月2日(日) 午後1時~午後6時	結婚相談所 (消防署隣り) 62-7853
女性のための 悩み相談	一般相談は電話で受付 (毎週火曜日~土曜日)	県男女共同参画センター (岡谷市) 22-8822

心配ごと相談 問 社会福祉協議会 62-6766 図 8988

スポーツスケジュール

日 時	事業名	会 場
8月18日(土)まで毎日 午前10時~午後4時	プール営業	海洋センター プール
8月12・26日(日) 午後5時~	小学生野球教室	町民広場 野球場 (雨天:海洋センター)
8月17日(金) 午後6時30分~	アクアビクス教室 (17日 閉講式)	海洋センター プール
8月19日(日) 午前8時30分~	第37回 町民水泳大会 兼 第36回 小学生水泳記録会	海洋センター プール
8月21・28日(火) 9月4日(火) 午後7時~	ヨガ教室 (第2回)	町民センター
8月24日(金) 午後7時30分~	フリースポーツデー	町民センター 海洋センター
8月25日(土) 午後1時~	西伊豆町 少年スポーツ交流	町民広場 他
9月1日(土) 午後1時~	総合型地域スポーツ クラブ事業(卓球教室)	海洋センター
9月2日(日) 午前8時30分~	第31回 町民硬式テニス大会	町民広場 テニスコート
9月8日(土) 9日(日)	西伊豆町 青年スポーツ交流	西伊豆町
9月10日(月) 午後7時~	体育施設利用者会議	町民センター

問 生涯学習課社会体育係 62-2400 図 2750

主な行事

日 時	行事名	会 場
8月25日(土) 午後1時~	第28回 尾崎喜八碑前の集い 第10回 富士見高原 詩のフォーラム	コミュニティ・プラザ
8月26日(日) 午前9時会場 9時30分開演	第6回 ピクニック コンサート in パノラマ	パノラマリゾート
9月2日(日) 午前9時~	富士見町 総合防災訓練	役場周辺

休日当番医・薬局

期 日	当 番 医	当番薬局
8月	12日(日) 高 原 病 院 62-3030	さくら藤沢薬局 61-1815
	14日(火) 文化ヶ丘医院 62-2046	通 常 営 業
	15日(水) 高 原 病 院 62-3030	通 常 営 業
	16日(木) 高 原 病 院 62-3030	通 常 営 業
	19日(日) 高 原 病 院 62-3030	藤 沢 薬 局 62-2106
	26日(日) 高 原 病 院 62-3030	ミツワ西友薬局 62-7586
9月	2日(日) 小 池 医 院 62-2222	さくら藤沢薬局 61-1815
	9日(日) 高 原 病 院 62-3030	藤 沢 薬 局 62-2106

粗大ゴミの収集

8月13日(月)	若宮・木の間・横吹 とちの木・南原山・富原 富士見ヶ丘・塚平・富ヶ丘 梅沢・希望ヶ丘
----------	---

資源物の収集

8月23日(木)	富士見地区
9月 6日(木)	本郷・落合・境地区

プラスチック類のみ

8月23日(木)	本郷・落合・境地区
9月 6日(木)	富士見地区

ふれあいセンターふじみ・清泉荘 休 館 日

8月13日(月)・20日(月)・27日(月)
9月3日(月)・10日(月)

水道指定給水装置工事事業者 土・日・祝日当番店

月 日	当 番 店	電話	有線
8月	11日(土) 坂 本 鉄 工 所	62 2065	3153
	12日(日) 窪 田 設 備	62 7004	5833
	18日(土) 窪田鉄工設備	62 3253	2766
	19日(日) エ ン ド ウ	62 5656	2732
	25日(土) リビングクボタ	62 5391	3712
	26日(日) 富 士 見 設 備	62 2421	
9月	1日(土) 太 陽 住 設	62 2093	8690
	2日(日) ウ エ ノ ヤ	62 6810	3293
	8日(土) 山 本 管 工 事	64 2649	8940
	9日(日) 戸 井 口 建 設	65 3213	5396

こんにちは

地域包括支援センターです

来所・有線電話相談
月～金曜日 8:30～17:00
☎8200
電話相談(24時間対応)
62-8200

お急ぎでない方は、できるだけ平日の昼間をお願いします。

「ふじみ体操学校」参加者募集

—体操やって、友だちの輪を広げよう—



富士見に住んでいる、65歳以上のみなさん!!

「最近、若いころのように動けなくなったわぁ・・・。」

「おっと、あぶないっ! また転ぶとこだったよぉ。」という方はいませんか?

そういう方はもちろん、そうでない方も、ぜひぜひ、ふじみ体操学校に、参加してみましょう!

ふじみ体操学校とは・・・

「いつまでも友だちとともに、元気で自分らしく、イキイキと暮らしていくことができる」ように、みんなでお話しながら、楽しみながら、体操する学校です。

募 集 要 項

参加資格：富士見町に住所のある65歳以上の方かつ要介護認定を受けていない方

内 容：からだのお話を聞いたり、みんなで体操したり、お茶を飲んだり、お話をしたり など

講 師：富士見高原病院 理学療法士(体操のプロです。)

開始時期：10月から(毎月1～2回)

時 間：午前9時30分～11時30分

場 所：町民センター

参加費：無 料

募集人数：20人程度

申込締切：9月28日(金)

ただし募集人数に達し次第、締め切らせていただきます。



【申し込み・問い合わせ】 富士見町地域包括支援センター 62-8200 ☎8200

親と子の健康ガイド

富士見町健康カルタ

禁煙を みんなでしっかり 守ろうよ

平成18年度 境小学校6年 小林 裕也 さん

8月の保健日程(8月11日～9月10日)

健康診査・予防接種

事業名	対 象	期 日	時 間	会 場
4ヵ月児健診	平成19年4月～5月生まれの人	8月30日(木)	午後110(集合)	保健センター
1歳6ヵ月児健診	平成18年1月～2月生まれの人	8月22日(水)	午後110(集合)	
2歳児歯科健診	平成17年7月～8月生まれの人	9月10日(月)	午後110(集合)	
3種混合	平成19年1月生まれまでの人	9月3日(月)	午後115～150(受付)	
B C G	生後3ヵ月～6ヵ月未満で未接種の人	8月28日(火)	午後130(集合)	

相談・教室

事業名	期 日	受付時間	会 場
地域乳幼児相談	8月23日(木)	午前1015～1115	子育てひろばA・A・i (町民広場・研修センター)
母親学級 歯科検診・調理実習	9月5日(水)	午後110～120	保健センター

☎ 住民福祉課保健予防係 62-9134 ☎9134

NHK放送 甲州街道完全踏破『街道てくてく旅』で 富士見町が紹介されました！



4/23 AM 7:30 いよいよ番組がスタート。日本橋では緊張した面持ちで、何度もリハーサルを繰り返しました。



5/22 AM 8:00 上馬木集落本陣大阪屋の門から生中継。本番5秒前、LCVアナウンサー藤森春菜さんと緊張の瞬間。

NHK朝の連続生放送 中継シリーズ「街道てくてく旅」では、今年4月23日～5月25日にかけて、東京日本橋から長野県下諏訪宿までの甲州街道25箇所から生中継をしました。テレビで楽しみに見られた方も多いと思いますが、富士見町では、5月22日に馬木宿より生中継が行なわれ、たくさんの方々が旅人の勅使河原郁恵さんをひと目見ようと集まりました。

甲州街道沿いに住んでいる者にとっては身近な存在のはずの街道ですが、この番組を通じて改めて街道のすばらしさを教えてもらったような気がします。

そこで今回は、テレビでは放送されなかった取材風景をお伝えします。



5/21 PM 3:30 馬木宿へ到着し、田植えを体験。長靴がなかなか脱げず、「セーの」で引っ張り、やっと抜けました。



5/22 PM 3:30 桔梗屋さんの縁側に座って、お茶をいただくと、長旅の疲れも癒されました。



5/22 PM 5:00 神戸八幡神社では、地元の皆さんから御柱について学びました。お見送りは威勢のいい木遣り唄、元気をもらいました。

町民の皆さんもぜひこの機会に街道をゆっくり歩いてみてはいかがでしょうか。

～このコーナーに関する“ご意見感想”をお寄せください～

問 総務課新しいまちづくり係 62-9328 図 9328 E-mail shimach@town.fujim.inagano.jp

女性の元気は町中の元気！ ふじみ高原地元食材フェスティバル

“ふじみ自慢料理コンクール2006” 出展作品紹介⑥



『とうがんのはさみ揚げ
古代浪漫ソース』
大人の部
出展 堀 京一

美しい紫の古代浪漫ソースが特長、とうがんも豚肉と合わせて揚げること、夕食の主役になります。

【材 料 4人分】

とうがん：「8cm×3cm×0.5cm」を8枚 豚もも肉：300g
卵：1個 小麦粉：適量 パン：適量 ソース(古代浪漫)：50g
赤ワイン：30g 玉ねぎ：1/8個 固形ブイヨン：1個 水：50g
つけ合わせ野菜

【作り方】

*ソース

蒸した古代米、赤ワイン、みじん切り玉ねぎ、固形ブイヨン、水を30分間煮る。ミキサー又はフードプロセッサーで液状にする。とろみがつくまで煮つめる。

*はさみ揚げ

とうがんは皮をむき、「8cm×3cm×0.5cm」を8枚用意する。
とうがん、豚肉、とうがん重ね、まわりに豚肉を巻く。
小麦粉、卵、パン粉をつけ、175℃で5分間揚げる。
野菜と盛り付け、古代浪漫ソースをかける。



堀 京一さん(境広原)

話題

満開のスズランがハイカーをお迎え!

6月下旬、満開となったスズランの甘い香りが広がる入笠湿原は、大勢のハイカーで賑わいました。

湿原周辺はクリンソウやレンゲツツジも開花し、訪れた皆さんは可憐に咲く花々をカメラに収めながら、散策を楽しんでいました。



丁偉木蘭県人民政府を表敬訪問
同副県長と名取重治訪中団長（6/25）

友好の絆を深めて・・・中国訪問

町日中友好協会（会員188名）では本年度事業の一環として、日中関係の友好を深めることを目的に、名取重治副町長を団長に総勢23名による「第7次訪中団」を編成し、6/24～7/2までの9日間の日程で中国を訪問しました。

黒龍江省、ハルビン市木蘭県及び方正県を表敬訪問し、友情と信頼関係を確認し合うとともに、木蘭県富士見分村開拓地、方正県日本人公墓への参拝、西安及び大連の歴史文化の参観などを行いました。

海洋センタープール オープン!

7月7日 海洋センターのプールがオープンしました。（8月18日まで毎日営業）

水の中で体を動かすことは、適度な全身運動になり、機能回復にも効果があるということで、高齢者のリハビリにも利用されています。

今年の夏は家族で水に親しみ、健康増進を図ってはいかがでしょうか。

大勢の皆さんのご利用をお待ちしています。



オープン前の安全祈願式（7/6）



ゲンジボタル 佐々木昆・勝野重美 共著「ホタルの一生」より

ホタル観察会

6月24日 井戸尻史跡公園内の水田で富士見の自然と文化を守る会主催の「ホタル観察会」が行われました。

日本には約50種のホタルがおり、このあたりはゲンジボタルとヘイケボタルが多いこと、またホタルの生態などについて、牛山晴吉先生に解説していただきました。気温が上昇した夜には、たくさんのホタルを見ることができるようです。

（写真は参考文献のものです。）



ご協力ありがとうございます 「入笠 花の里山植栽ボランティア」

入笠山の山野草を守り育てる植栽ボランティア事業も3年目を迎え、6月30日 6回目の作業が行われました。

この日は町内外の一般ボランティアの皆さんの他、集落子ども会、富士見高校園芸科、町内企業の皆さん、友好都市多摩市の皆さんなどおよそ350人が参加し、サワギキョウやヤマアジサイ、ヤナギランなど5,800株を植えました。

災害に備えて・・・防災講演会開催

7月7日 コミュニティ・プラザで防災講演会が開催されました。

講師の佐藤元長岡市防災課長は、新潟県中越地震を教訓に、自主防災組織の機能が減災の鍵であることを強調されました。



町ポンプ操法大会 訓練の成果を発揮

7月8日 富士見高原中学校校庭で、富士見町消防団のポンプ操法大会が行われました。

ポンプ車操法の部には4分団から4チーム、また小型ポンプ操法の部には9分団から12チームが出場し、これまでの訓練の成果を披露。緊張した空気が張りつめる中、番員はきびきびとした動きで、技術を競い合いました。

ポンプ車操法の部では第6分団、小型ポンプ操法の部では第7分団が優勝しました。

ホテル八峯苑本館 全面改築



昭和46年5月のオープン以来、多くの方に親しまれ利用されてきた富士見高原のホテル八峯苑本館が全面改築されます。

7月3日には起工式が行われ、工事が始まりました。オープンは来年6月の予定です。新館と鹿の湯は営業していますので、ご利用ください。



緑に溶け込んだ旧八峯苑本館



江戸時代中期から始まったとされる「天王社のお注連上げ」が7月16日、町内の仁科・天王山祇園神社で行われました。

地元の区長・関係者・青年団員など約200人が集まり、500個の稲束を太さ20～30cm、長さ100m程度まで編み上げました。この作業は例年2日かかりで行われますが、台風の影響で前日の作業ができなかったため、1日に短縮。そのため、早朝5時から作業を開始しました。

編み上げたしめ縄は、メンバーにより本殿まで担ぎ上げられた後、麦わらで作られた馬6頭を結び付け、本殿の上空に張り渡されました。

五穀豊穡や疫病退散を願って行われるこの行事は、町の無形民族文化財に指定されています。



第6回 ピクニックコンサート in パノラマ

8月26日(日) 雨天決行

開 場：午前9時

開 演：午前9時30分

会 場：富士見パノラマ 特設ステージ

何でも持ち込み自由(バーベキューセット・テントなど)
バーベキューなどしながら、ジャズを楽しんでください!

チケット 前売2,000円 当日2,500円
(高校生以下無料)

チケットのお求めは、富士見パノラマリゾート・富士見観光案内所・コミュニティ・プラザでどうぞ。

平成18年度 ふじみ景観賞 入選作品紹介

緑化植栽部門【みどりの景観賞】

最優秀賞



『養護学校の生徒さんと蒔いたひまわり』

小 林 ゆ き (上蔭木)

編 集 後 記

蒸し暑い6月のある晩、我が家の庭先でキツネちゃんと遭遇してしまいました。一瞬見つめ合い、次の瞬間キツネくんは急転換し暗闇に消えていきました。

そういえば、この間サンルームにあった犬のような足跡とカラッポになった猫のエサは、彼の仕業だったのかもしれませんが。動物愛護家の私としてはエサをあげたいのはやまやですが、社会の仕組みを考えるとキツネくんには自然界で強く生きてもらうしかない、夜はエサを引き揚げることにしました。(Y O)

町 の 人 口	7月1日現在住民基本台帳(前月比) 総人口 / 15,530人(+1) 男 7,630人(+1) 女 7,900人(±0) 世帯数 / 5,670世帯(+4)
発 行 日	平成19年8月1日
編集・発行	富士見町役場
〒399 0292	長野県諏訪郡富士見町落合10,777 T E L 0266-62-2250(代) F A X 0266-62-4481
ホームページ	http://www.town.fujim.inagano.jp
Eメール	fujim@town.fujim.inagano.jp
印 刷	富士見印刷